

名 称	げんき情報局ふくやま
所 在 地	〒720-0803 広島県福山市花園町2-7-2
連 絡 先	TEL : 084-932-1386 FAX : 084-931-5055 URL : http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/genki

地域の現況・特色

活動対象地域の人口 福山市 4 6 3 , 6 2 3 人

本福山市は、広島県の東部に位置し、瀬戸内の歴史ロマンを見つめてきた街でもあり、新旧の文化が融合し、新たな歴史を育む街である。備後地域の中核都市として、「人間環境都市」を基底に、「輝く瀬戸内の交流拠点都市・個性豊かなばらのまち福山」を将来都市像として商工業が町の産業の中心としたまちづくりを進めている。2006年4月からは誰もが住んでみたいまちをめざして、市民と行政が良きパートナーとして連携した協働のまちづくりを積極的に取り組んでいる。

コーディネートした事例の名称、概要、特色

名称 「情報紙げんき情報局の発行」

情報紙「げんき情報局」を毎月発行し福山市内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の全生徒（約58,300人）に1部ずつ配布している。情報紙には体験活動の情報と、本の紹介や先輩からのメッセージ等を掲載している。

体験活動の内容としては…

福山市内・近隣の市町村での子どもが体験できるイベントの収集を行い情報紙に掲載している。情報紙には子どもたちが体験できる工作・クッキング・手芸などを毎回紹介している。

2004年度から導入されている「地域子ども教室」の様子も、随時掲載を続けている。地域子ども教室の安全管理員とも連携を取りながら取材に当たる。

本を紹介するコーナーでは、本の読み聞かせボランティアや図書館とのコーディネートを図る。

名称「げんき情報局員のコーディネーター」

げんき情報局員を募集し、小学校1年生～6年生までの10人の情報局員が有名人（芸能人、スポーツ選手）の取材や福山市内のイベントに参加し体験コーナーを担当する活動を実施した。

げんき情報局員がふくやまばら祭や子どもフェスティバルでの工作の指導を行うことに

より、情報局員がたくさんの方と触れ合うことで、教えることの難しさや楽しさを体験できる活動となった。

げんき情報局員が活動するにあたり、事前にコーディネーターが工作や、調理の指導を行う。

コーディネートの実際

- i (a) 読者から情報に対する問い合わせが多く寄せられる。子ども会単位で参加できるイベントの問い合わせや、取材にきてほしいという依頼も増えてきている。
(b) げんき情報局ふくやまでは子どもたちに体験活動の大切さを知ってもらうことを目的に、親子でのふれあいの場所、子ども同士の交流の場所を情報紙「げんき情報局」を通じて情報提供している。
- ii 福山市内や近隣の市町村で行なわれるイベントの情報を収集し、紙面を作成する。
情報の収集・提供・団体・機関への連絡調整などをコーディネートする。
- iii コーディネーターが情報紙を通じて募集した情報局員に工作を指導し、福山ばら祭・2006子どもフェスティバル等で情報局員が参加者に指導するコーディネートを行う。
- iv 情報局員とコーディネーターの会議を持ち、情報局員のやりたいことや夢を話してもらい、少しでも実現できるような点に苦慮した。
情報紙を作成するときには正しい情報や、不適切な言葉・表現がないか確認作業の大切さに苦慮した。配慮したことは、子どもたちにわかりやすい言葉で、読みやすく作成することである。
- v 情報紙を子どもたちに1部ずつ毎月配布することで情報が市内の子どもたちに届き、親子での会話が増え、他市からは福山市からの参加者が増えたとの報告を受けた。
子どもたちから届くイラストが毎月増加している。
キャラクター「げんくん」「きっこちゃん」も情報紙から生まれ、いろいろなイベントで、活用することで子どもたちにより親しみが深まった。
ホームページを毎月更新することで、情報を発信し続けている。
- vi 次年度も発行できるかどうか課題である。
毎月子どもたちに確実に情報を届けることで、あらゆる情報のPRが確実にできることが、各種団体、行政機関に周知され、情報の提供量が増えてきたため、限られたスペースの中では掲載しきれないことが多く、情報の厳選が難しい。
- vii 子どもたちに体験活動の大切さを引き続き伝えていきたい。



きっこちゃん



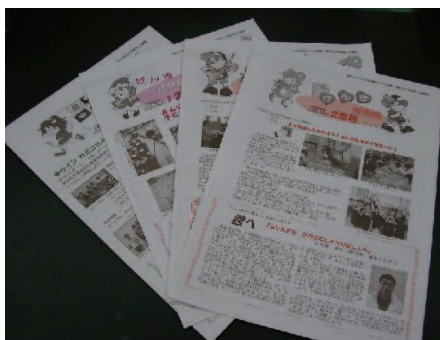
げんくん



突撃取材



福山ばら祭での工作指導



毎月発行のげんき情報局

執筆者職・氏名：福山市教育委員会社会教育部中部ブロック社会教育センター
ブロックセンター主事 三宅 予枝子